



2014 Start!

いままでにない取組みで、 県民の福祉のために

**広島県社会福祉士会
中島会長へインタビュー!!**

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。年度末がすでに目前に！新年度の準備にと、本会執行部はあわただしく動いていますが、公益社団法人への移行後の本会の方向について、中島会長へインタビューいたしました。

——新年を迎えての本会としての抱負をお聞かせください。

はい。まずは公益社団法人へ移行後、広島県の社会福祉士のために、さらには広島県民の福祉のために貢献できる会としてなにをすべきかを一番に考えていく必要があると思っています。つまり社会福祉士の実践するソーシャルワークをサポートする体制づくりをはじめ、会員同士のみならず社会福祉士相互のネットワークを構築するということです。各支部及び各委員会を中心に、より頑張っ手ごたえのある活動に取り組んでほしいですね。

——具体的にお聞きしたいのですが、生活困窮者自立支援法や介護保険制度改正など動きがありますね。会の方向性についてはいかがですか？

そうですね。生活困窮者自立支援法には専門職の配置が明記されていませんが、ぜひとも社会福祉士の人材配置を要望していきたいと思っています。介護保険については、介護予防の市町移行を控えて、各職能団体など社会資源の把握と可視化とネットワーク化に取り組みたいと思っています。そのためには、従来から研修事業を強化してきていますが、研修だけでなく資源開発や情報共有のできる会体制を急ぎ作っていく必要があると考えています。

——社会福祉士としての専門性をより発揮できるようにサポートのできる会へということですね。今、会員へお知らせしたいことや協力の依頼などあれば教えてください。

まず、お知らせしたいこととして、今年度より理事体制を改編し、業務執行理事を設け総合企画会議をスタートさせました。かなり頻繁に開催する



↑総合企画会議の白熱する議論の一コマ

ことで、議決事項のていねいな協議や進捗確認作業ができ、事務局とともに迅速な執行部運営ができつつあります。今後も事務局体制をさらに強化し、県民の福祉に貢献できる会組織へと向かっていることをあらためてお知らせいたします。つぎにお願いしたいことは、新規会員の加入にご協力いただきたいのです。昨今、社会福祉士の活躍分野は多岐にわたります。ソーシャルワークの特性として、同じ分野で深く学ぶ機会と同時に、横断的に見渡せる場があることで自分の仕事の幅が広がっていきます。多くのかたのご加入によりお互いの参加メリットの実感がわいていきますので、ぜひともご友人知人、同僚の方々へ、加入勧奨を一声かけていただきたいと思います。

中島会長、ありがとうございました。新年度の事業計画もていねいに策定され、今まで取り組んだことのない事業も推進する方向とのこと。会員のみなさんにおいては、せっかくのチャンス、受け身ではなく「会に参画する」という気持ちで、各方面での活躍を応援しています。よい一年を！！

(文責：広報部長 理事 丸山法子)

年の始めは「新春互礼会」から

広島ソーシャルワーカー3団体新春互礼会の報告です



1月11日（土）広島YMCA国際文化センターにおいて、ソーシャルワーカー3団体合同企画「新春互礼会」を開催しました。この企画は7月のソーシャルワーカーデーイベントとともに、3団体（精神保健福祉士協会、医療ソーシャルワーカー協会、そして本会）合同の企画としてすっかり恒例となり、今年で4回目となりました。

ビギナー会員や、互礼会初参加の人も含め40名の参加となり、開会前からあちこちで話の輪が出来、進行そっちのけ？で話がはずみます。おなじみの「名刺交換大会」では、お互いをよりよく知る大チャンス！2次会では、職場のこと、まったくプライベートなことまで延々と話が続き大盛り上がり。

今回も各団体実行委員による実行委員会を組織して準備をすすめてきたのですが、年の初めに集い、そして今年の抱負を語ることで気持ちを新たにすることが出来た今年の「新春互礼会」。いい汗かいたなって感じです。こういう場面を活用してソーシャルワーカー同士のネットワークを広げてほしいなと思いました。来年も皆様との出会いを楽しみにしております。沢山のご参加をお待ちしています！！

（次世代育成委員会 百川 晃）

このスペース。
あなたなら、どうつかう??

新企画
広告募集事業、開始。

詳しくはつぎのページ

2月号

報告 広島ソーシャルワーカー3団体新春互礼会報告

お知らせ 新企画！広告掲載記事募集

会員紹介リレー / 事務局から愛をこめて / 社会福祉士お勧めの図書

年末特集 本会の委員会活動を知りつくす！（後編） / 研修イベント情報

平成26年度新企画

広告掲載記事を募集します

社会福祉士は、ソーシャルワークの専門職として、地域にある多様な社会課題を解決するなかで、住民の権利擁護に貢献し、ノーマライゼーションの実現をめざし、もって地域の福祉に貢献しさらなる活動の場を広げています。昨年春に公益社団法人化し会員900人余りで構成する本会は、県民の暮らしに貢献できる職能団体として広く発信していくために広報事業の拡大に取り組んでいます。現在、会員便りの2か月ごとの郵送発行とホームページをメインに取り組んでいますが、今後はフェイスブックの活用、会員便りのメール配信をはじめあらゆる媒体に取り組む予定です。

ついでに、社会福祉をめぐる現場での課題を共有し、よりよい福祉実践のためにネットワークをつくるために本会広報媒体を活用いただきたいと、このたび関係諸団体の広告協賛の募集を開始いたします。理念の告知、イベントお知らせ、新規事業開始のお知らせ、人材募集情報など、各種の広報・告知と社会福祉士の相談援助実践における社会資源情報の発信もかねて、ご活用いただきたいと思えます。関係各位の広告掲載の申し込みをお待ちしています。



内 容	期間・回数	料金（税別）
「会員便り」記事掲載	1年（6回発行） 半頁（A5） 巻末広告集	60,000円
	1年（6回発行） 四半頁（A6） 巻末広告集	30,000円
	1年（6回発行） 八半頁（A8） 巻末広告集	20,000円
	単発（1回のみ） 半頁（A5） 巻末広告集	15,000円
会報紙へのチラシ同封	1回 A4・1枚	30,000円
ホームページ掲載	1年掲載	120,000円
ホームページ記事掲載	1回（2か月まで）記事掲載	10,000円

ご応募いただきます折には、ホームページ上から「公益社団法人広島県社会福祉士会広告掲載取扱規程」「広告掲載申込書」をダウンロードいただき、本会事務局へお申込みください。

公益社団法人 広島県社会福祉士会
TEL：082-254-3019 FAX：082-254-3018

会員紹介リレー

西支部 坂井晶子

サンキ・ウエルビー株式会社 業務部

こんにちは、坂井晶子です。サンキ・ウエルビー株式会社という介護会社の本社業務部で仕事をしています。現在中国地方で 116 箇所の事業所を展開し、職員も 2000 人を超えました。その中で業務部が果たす役割は、教育研修・申請管理・苦情処理・コンプライアンス遵守等々と多岐に渡り、現場職員のサポート部門としての横串の機能を果たしている部門になります。

そのような部門に私がいるのかというと、さかのぼること 16 年前になります。前職は看護師として病院等で勤務していました、介護保険施行前に入社し、新卒の社会福祉士と 2 人で訪問介護事業所の立ち上げからスタートしました。その後ケアマネジャーとして仕事をしていく中で、他法人の社会福祉士さんや弊社の介護職員との出会いが今の私の原点になっています。それは、高齢者に対して生活者としての視点の持ち、熱意を持って係わるその真摯さ、そのあきらめない粘り強さに驚きました。医療者として病気を持つ人とのかわりが中心でしたので、いかに自分が狭い環境（病院）で仕事をしてきたことにあらためて気づきました。視点を広げようと、社会福祉士の通信教育を受けて無事合格する事ができました。現在は現場での直接支援はしていませんが社会福祉士として、社会福祉の推進とサービス利用者の自己実現をめざせるよう今後も側面支援していきたいと思えます。



事務局から愛をこめて



現在、職員、パート合わせて 6 人体制の事務局です。会員の皆様と直接お会いする機会はあまりありませんが、少しでも多くの情報を提供し、研修等の準備をお手伝いさせていただくことで、皆様の活動のお役に立てることができればと思って日夜がんばっています。電話でのお問い合わせのときや研修の受付などで、少しでも仲良しになれるとうれしいです。もちろん、近くにお越しの際は、是非事務局にお立ち寄りください。写真ではお伝えできないのが残念ですが（みんなシャイなので…笑）、スペシャルな笑顔でお迎えます♪

社会福祉士お勧めの図書

「わたしが正義について語るなら」

やなせたかし 著 ポプラ新書

昨年逝去したマンガ家 やなせたかしが、代表作アンパンマンに込めた正義への熱い想い。若い頃の戦争体験、手塚治虫を始め著名人との仕事、幸運に恵まれない半生が綴られている。そして見出した結論は、正義の味方は、弱者の生活を守る。その真の姿は、決して格好良くはない、ということ。

飢えた人に自分の頭を食わせて元気を与えるアンパンマン。その風貌はショッキングでもあるがある意味シンプル。幼児期に人への思いやりを学ぶための絵本としてだけでなく、おとなになっても心にしみる言葉こそ、長く愛される理由。アンパンマンが大きくなり過ぎて、書いていた本人も収集がつかなくなっていたようだが、その点も正直に表現された奥の深い一冊。ソーシャルワーカーとして心を整えたいときのバイブルとしておすすめします。（い）



年度末特集

本会の委員会活動を知りつくす！（後編）

社会福祉士会の「委員会」とは、事業の企画・研究・調査等の推進を目的として、継続的または期間を定めて設置される機関です。12月号に引き続き、各委員会の活動報告をさせていただきます。活動にご興味のある方、社会福祉士としての活動の幅を広げたい方、ご参加お待ちしております！

地域包括ケア推進委員会

委員長：赤山 亮

地域包括ケア推進委員会では、地域包括支援センターの現場での仕事のサポートや地域包括ケアに従事する方へのサポートを行っています。

今年度は委員会主催で虐待などをテーマにした地域包括支援センターの現任者研修やファシリテーションの技術を学ぶ研修、地域ケア会議の開催について学ぶ研修などを開催してきました。来年度も地域包括ケアを推進するべく委員会メンバーも募集していますので興味がある方は是非一緒に頑張りましょう。

第三者評価委員会

委員長：岡崎 晃

社会福祉法第78条を根拠に、全国の都道府県で「福祉サービス第三者評価」を実施しており、広島県では3つの団体が認証を受けて第三者評価機関として活動しています。本会は、広島県では唯一の専門資格者の職能団体として評価活動に取り組んでいるところです。委員会活動に参加するためには、評価調査者の5日間程度の研修の修了が必要です。今年の夏に研修が予定されており、当委員会からもご案内しますので、関心ある会員の皆さんの研修受講と、評価活動への参加を積極的に呼び掛けています。

ばあとなあひろしま運営委員会

委員長：来山 学弘

ばあとなあひろしま運営委員会では、成年後見制度に関する各種事業を行っています。福祉専門職として成年後見活動を行う人材を育成するための養成研修を開催し、現在約200名が登録しています。登録後も勉強会等を通じて成年後見人としての資質向上に努めています。その他、相談会の開催、講演会による普及啓発、関係団体・機関との連携のほか、現在本会による法人後見事業の検討を進めています。成年後見人のニーズは今後もますます増えていくと予想されます。皆さまの参画をお待ちしております。

広島高齢者・障害者虐待対応専門職チーム

担当理事：道下 整

このチームは広島弁護士会と当会が協定を結び、平成22年2月に発足しました。現在、弁護士33名、社会福祉士12名がチームに所属しています。高齢者・障害者虐待事例に対応する自治体担当部署や地域包括支援センター等からの依頼をうけて、虐待事例のケース会議に出席し専門的見地から助言を行うことや、各自治体に設置される虐待防止ネットワーク会議への参加、研修講師の派遣などを行っています。今年度は1月末時点で17回の派遣実績があります。

広報委員会・広報部会

委員長：幸本 尚子

広報委員会では、会員及び県民に対して必要な情報を提供していくことを目的とし、年6回の「会員便り」の発行活動をしています。この会報誌を通して、900名近い会員の皆様へ当会の活動内容がわかりやすく伝わるよう心掛けています。研修イベント情報や研修報告に始まり、会員紹介リレーや近年の社会福祉士国家試験受験問題など多様な内容となっています。委員会は現在8名で構成されています。委員会活動へ参加してくれる方（楽しい話が好き、パソコンが好き、仕事以外の話をしたい、書くのも嫌いじゃないという方）を大募集しています。また記事へのご意見ご感想等もお待ちしています。

2号にわたって委員会活動のご紹介をさせていただきました。委員会には、ご自分の専門分野の経験と学びを深めるために参加している人ばかりです。目標があれば行動がすすみ、人とのつながりがあれば仕事も学びも楽しくなります。春からの目標をしっかりと立ててぜひとも参加をしてみてくださいね。

研修&イベント情報

まだまだ寒いから
風邪には十分注意をしてね



発達障害の理解を深める勉強会

講師 西上忠臣氏（特定非営利活動法人ちゃんくす代表者）
日時 平成26年3月8日（土） 14:30～17:00（受付：14時～）
場所 福山すこやかセンター（福山市三吉町南2丁目11番22号）
内容 発達障害の理解を深める勉強会を開催します
定員 35名 参加費 500円 主催 東支部

自宅でできるボランティア ホームレス支援委員会から寄付のお願い



新しい生活をスタートさせるために
日用品や日持ちする食品を求めています

本会ホームレス支援委員会では、ホームレスの方々の支援として、入浴サービスなどを提供しています。温かいお風呂でさっぱりしてもらい、食事、着替えなども支援しています。まだまだ寒い毎日が続きますね。そんな時、寒さを補う食材、暖かい靴下や下着があると助かります。

「新しいけど、好みじゃないから使ってない。捨てるにはもったいない。いただきものの食品をおいしいうちに」などありましたら、ぜひご協力をお願いします。

- ◇物品 石鹸、タオル、下着、靴下など（原則新品でお願いします サイズはM・L）
- ◇食品 米、缶詰、即席カップ麺、レトルト食品など日持ちするもの

編集後記

皆さん、新年会や連休を楽しみましたか？広報委員会でも新年会を行いワイワイ楽しみました♪普段は違う分野で働いている委員の皆さんも社会福祉士として目指す目的は同じ。いつもやる気と新しい発見をもらっています。この前、私は地元の中学校の同窓会に参加し、20年来に会った同級生に「小中学校の時はとてもおとなしかったのに、よくしゃべるようになったねー！」とひどく驚かされていました。忘れていましたが小さい時は大人や異性と話すことが恥ずかしくて口数少なかった私。福祉の道に入り、年齢を問わず沢山の方と話す機会が増え、今では鉄板ネタ？も持ち、始めて会う地域の大先輩にも田んぼ・みかん・鹿・猪の話で導入はバッチリ（笑）年月は人を大きく変えてしまったようです。これから社会福祉士の資格と歩んでいく年月を重ねていくのが今から不安・いや、楽しみです！（ふ）